

那覇市建設コンサルタント業務成績評定審査基準

○那覇市業務委託契約約款（土木設計等）

○那覇市業務委託契約約款（工事監理）・土木工事の場合 適用編

1 主任調査員審査基準

(1) 審査方法

主任調査員は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に評定を行う。

(2) 評定点範囲

採点表（主任調査員用）の該当評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

2 調査員及び検査員審査基準

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、各評価項目の評定を行うものとする。（評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない）

3-1 事故等による減点等

(1) 事故等による減点

当該業務遂行中に受託者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表－1を参考として15点まで減点することができる。

別表－1 受託者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区 分	口頭注意	文書注意	指名停止1ヶ月まで	指名停止が1ヶ月を超える
考 査 点	－3点	－5点	－10点	－15点

【適応事例】

- ・入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- ・発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・一括再委託、請負を行った。
- ・打ち合わせ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。

- ・当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。

(2) 瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書のかし担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表－２を参考として２０点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。また、那覇市建設コンサルタント業務成績評定試行要領（以下、「要領」という。）第６条に定める検査結果の通知後に当該事象が発生した場合は、評定要領第７条に定める評定の修正を行うものとする。

別表－２ 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区 分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により瑕疵修補又は損害賠償の実施
考 査 点	－１０点	－２０点

３－２ 評定の修正

那覇市建設コンサルタント業務成績評定試行要領（以下「要領」という。）の第７条に定める評定を修正する必要があると認められる場合とは、次の場合とする。

- (1) 前項３による減点を行った場合
- (2) 業務履行中又は業務完了後に生じた事由などにより、那覇市建設コンサルタント業務成績評定評価委員会の審議を経て事業主管課が評定の修正を行う必要があると判断した場合

４ 適用する採点表について

(1) 業務種類別の適用採点表

ア 「設計業務」採点表

評定要領第２条第１号に規定する業務に適用する。

イ 「現場技術業務」の採点表

評定試行要領第２条第３号に規定する業務に適用する。

(2) 対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務は設計業務及び工事監理業務とするが、設計業務に測量作業、地質調査等が含まれる場合や工事監理業務とまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の考査をもって評定点とみなすものとする。

5 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて各評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

評価項目			設計業務										
			業務 評価	技術者評価									
				管理	担当	照査							
専 門 技術力	提案力、改善力		2	2	2	—							
	業務遂行技術力		4	4	4	—							
	施工時への 配慮 (注 2)	概略設計、 予備設計	1	1	1	—							
		詳細設計	1	1	1	—							
	コスト把握能力 (注 2)		1	1	1	—							
管 理 技術力	工程管理能力		2	2	—	—							
	品質管理能力		2	2	—	2							
	迅速性、弾力性、 調整能力		1	1	—	—							
コミュニケーション力	説明力、プレゼン テーション力、協調性		1	1	1	—							
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観		2	2	2	—							
成果品の品質			8	8	5	1							
合 計			24 (100%)	24 (100%)	16 (100%)	3 (100%)							

評価項目		現場技術務等		
		業務 評価	技術者評価	
			管理	担当
専門 技術力	目的と内容の理解	6	6	6
	的確な履行	36	36	36
	業務目的の達成度	18	18	18
管 理 技術力	業務実施体制の的確性	14	14	14
	打ち合わせの理解度	7	7	7
	指揮系統の迅速性、確実性	14	14	14
取組 姿勢	責任感, 積極性, 倫理観	5	5	5
合 計		100	100	100

(附則)

- この基準は、平成23年12月13日から施行する。
- この基準の規定は、この基準の施行の日以後に締結する業務委託契約から適用する。

参考：採点上の補足

1. 業務執行に係る過失に伴う減点について

採点表の評価細目で「その他」を選択する場合は、その理由を記載する。

以下、例を示す。

（業務実施上の過失の評価例）

- ・ その他（プロポーザル方式又は総合評価落札方式において契約図書に反映された技術提案の実施が不十分であった。）
- ・ その他（主任調査員の再三の指示にもかかわらず、改善されなかった。）

2. 高度な技術レベルが求められる場合等について

採点表の評価細目で、“高度な技術レベル” “難易度の高い業務” の項目があるが、これに関しては「設計・コンサルタント業務等入札契約問題検討委員会中間とりまとめ」に示される「知識」の高い業務かつ／又は「構想力・応用力」の高い業務を指す。

以下、標準的な業務内容に基づいた例を示す。

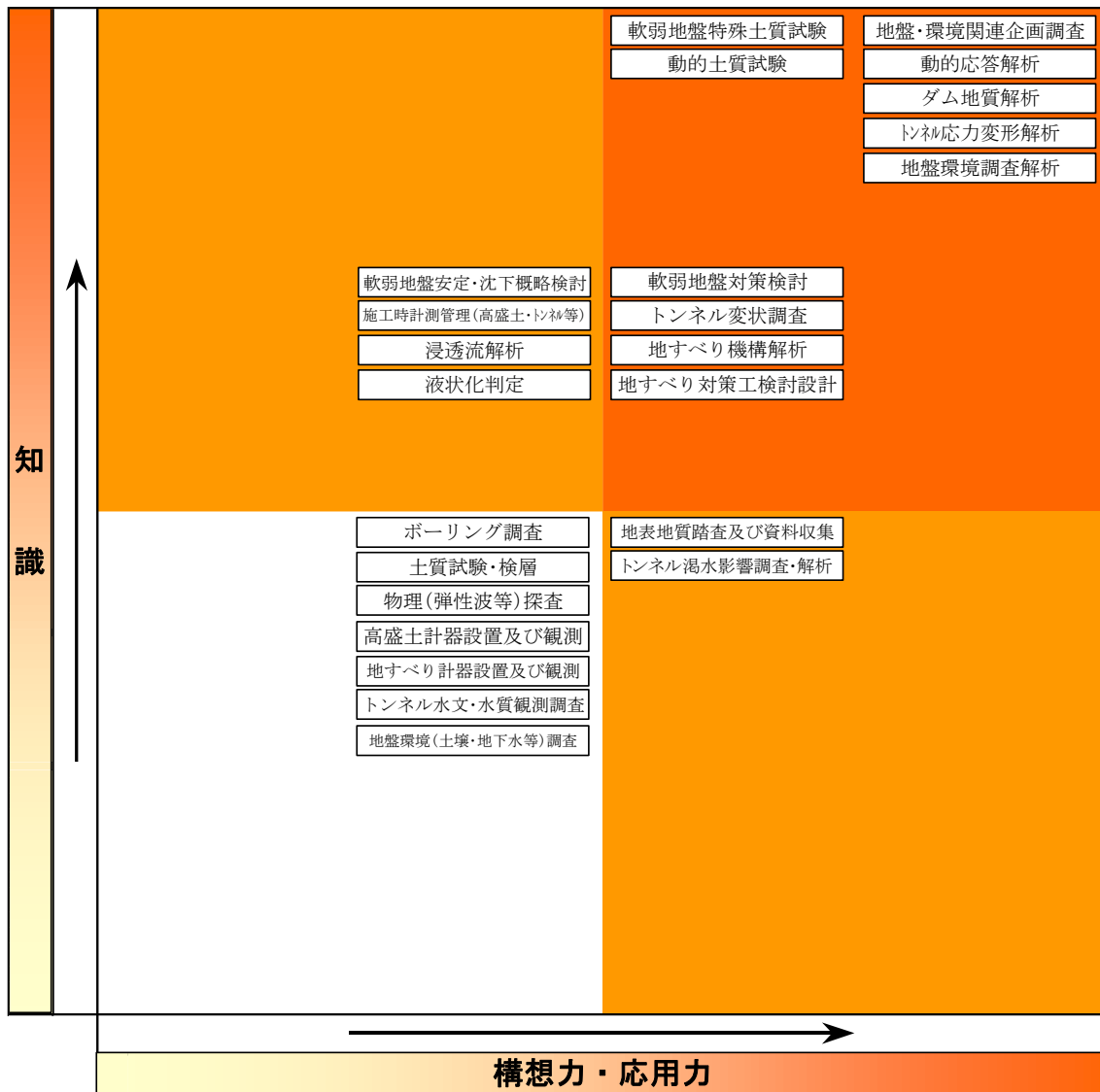


図 地質調査の例

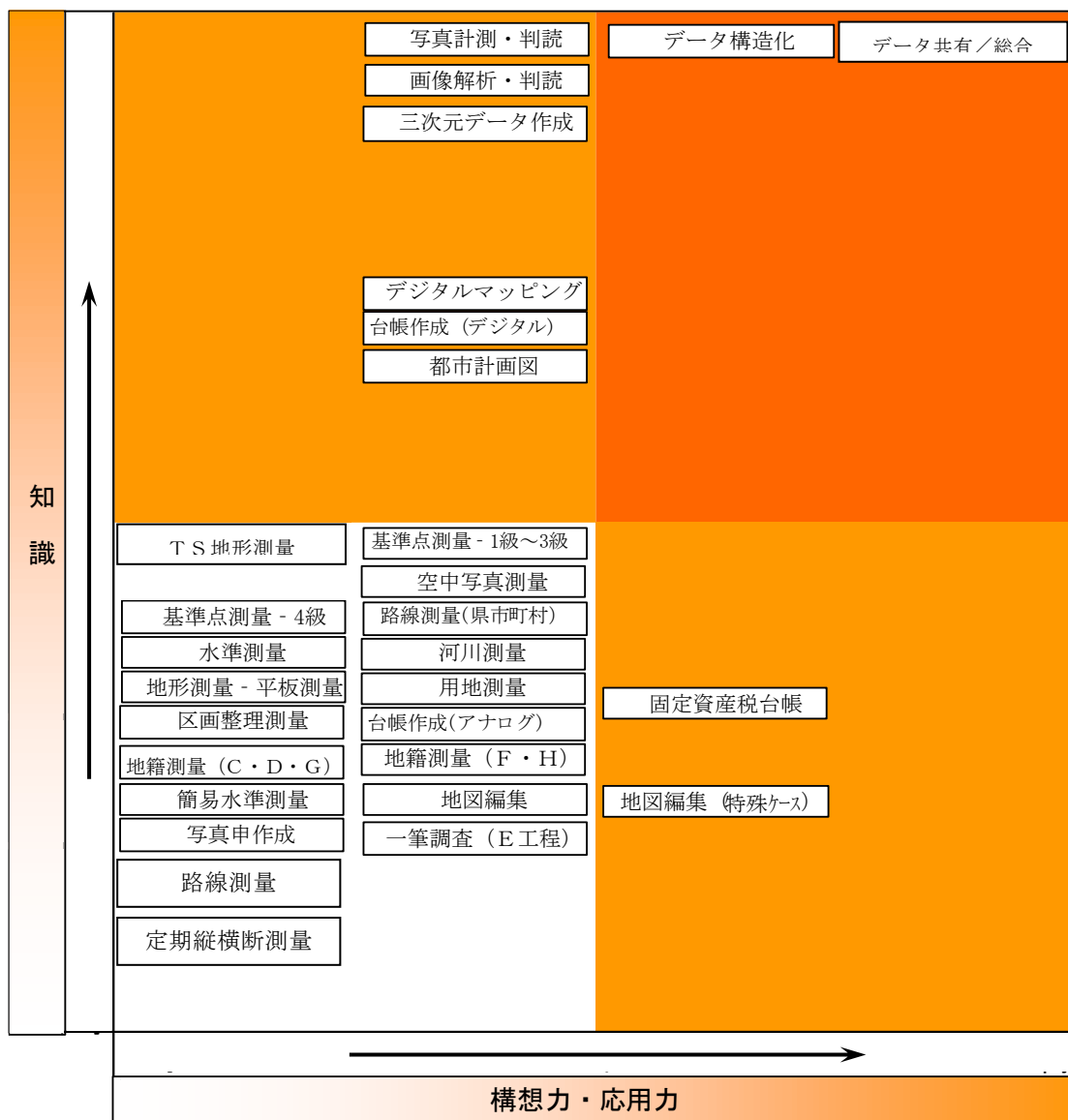


図 測量作業の例

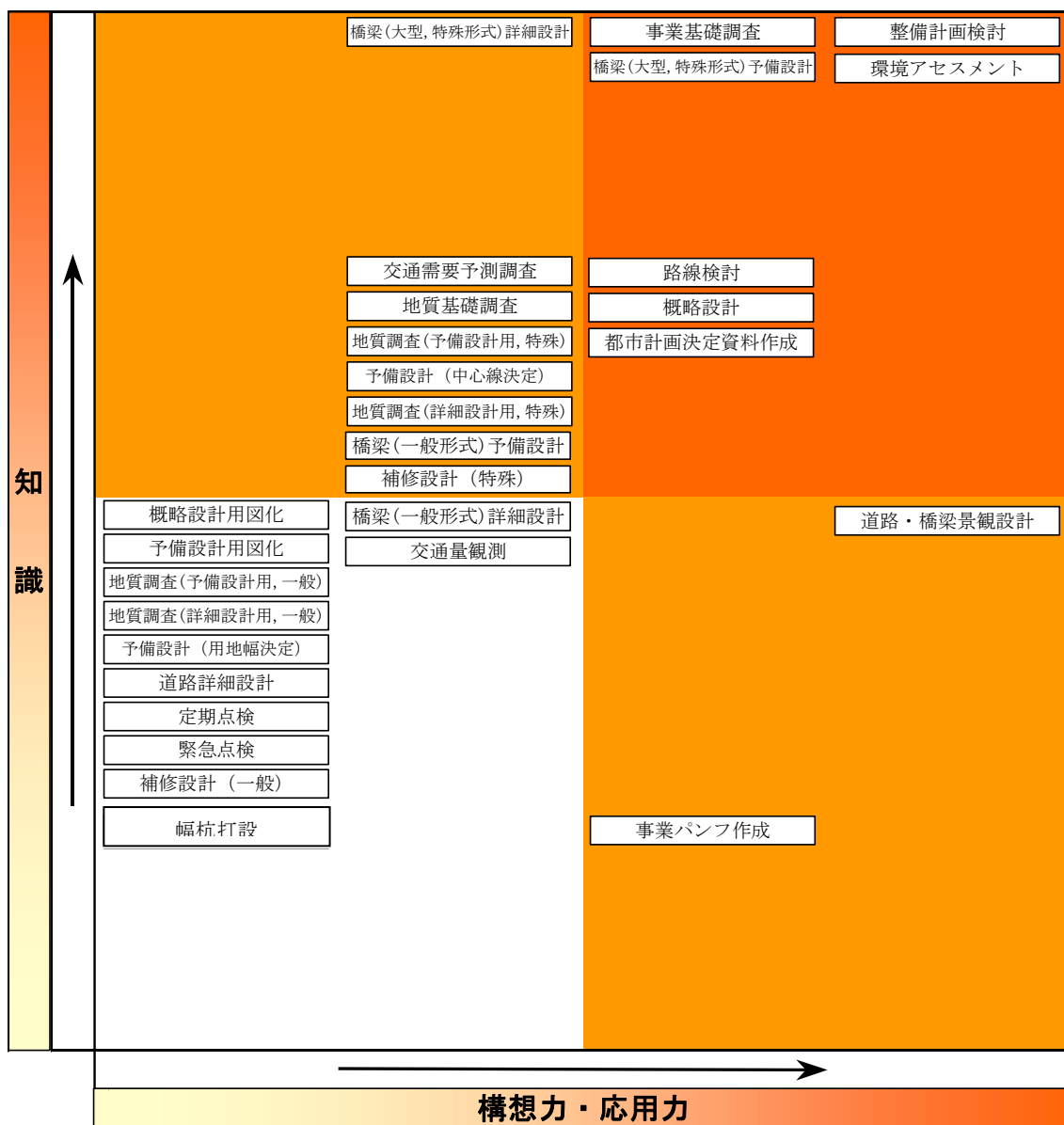


図 道路事業に係わる調査・計画・設計業務の例



注：A，Bは同種の業務における難易度の違いを表し、Aは難易度が大きいものであるもの。

図 河川事業に係わる調査・計画・設計業務の例

7. 採点表

(3)設計業務 ①〔調査員用〕

(1/5)

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	提案力、 改善力	業務着手段 階における 業務特性等 の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					0.6	☐ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ☐ ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注)
			業務遂行段 階における 提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					0.6	☐ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ☐ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基 づく提案がなされた。注)
			業務遂行上 必要となる課 題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					0.6	☐ ・当該業務で不足する課題が抽出された。 ☐ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
			業務内容等 改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					0.6	☐ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ☐ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小 計	100	①					60		
	業務執行 技術力	目的と内容 の理解	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・業務画書に必要事項が記載されていた。注2) ☐ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。注 2) ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解され ていた。	
		必要情報の 把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ☐ ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ☐ ・業務遂行段階で、新たなに必要とされた情報収集の努力がなされてい た。 ☐ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。	
		検討項目、 検討手法	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足無く設定され、検討項 目間の整合も図られていた。 ☐ ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活 用するなど、難易度の高いものであった。注1)	
		打ち合わせ 資料の内容	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 ☐ ・打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込ま れていた。 ☐ ・打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適 切に盛り込まれていた。 ☐ ・適用する諸基準類のない作業(業務)、若しくは難易度の高い業務等を進 めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。	
		十分な 技術力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されて いた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術 力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事 項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応で きる能力を有していた。注1)	
		小 計	100	①					20		

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	(設計業務を対象に評定する。) 概略設計 予備設計	施工に関する一般的な知識	60	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 ☐ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 ☐ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 ☐ ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。
			施工条件の把握	40	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ☐ ・当該地域の環境特性を把握していた。 ☐ ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 ☐ ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。
			小 計	100	①					20	
		(設計業務を対象に評定する。) 詳細設計	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 ☐ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 ☐ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 ☐ ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。
			施工条件の把握	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ☐ ・当該地域の環境特性を把握していた。 ☐ ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 ☐ ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。
			施工計画 (施工方法、仮設備計画)	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・必要事項を記載した施工計画が提案された。 ☐ ・施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ☐ ・工事が周辺環境に及ぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 ☐ ・当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階毎に適切に整理する提案がなされた。
			小 計	100	①					20	
		(設計業務を対象に評定する。) コスト 把握能力	コスト把握能力	100	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ☐ ・現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 ☐ ・コスト縮減に係わる提案があった。 ☐ ・ライフサイクルコストや新技術・新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。
			小 計	100	①					20	

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	工程管理 能力	実施手順 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・契約書等に記載された期限内(ex.契約締結後14日以内)に業務工程表が提出され、速やかに作業(業務)の着手がなされた。 ☐ ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 ☐ ・業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 ☐ ・作業(調査)項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
			実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。注1)、注2) ☐ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。注1) ☐ ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、作業(業務)内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 ☐ ・業務計画書(業務組織計画)に示された実施体制は、本作業(業務)の履行に対して十分な体制であった。注1)
			打合せ内容 の理解、記 録	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 ☐ ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 ☐ ・受注者内(再委託先等を含む)で意志疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 ☐ ・打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された(打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった)。
			工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 ☐ ・設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 ☐ ・関連する他の業務や工事に影響を及ぼすことなく完了できた。 ☐ ・履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。
			小 計	100	①					20	
	品質管理能 力 概略設計 予備設計	ミス防止の実 施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					0.6	☐ ・第3者(管理技術者、担当者、照査技術者)以外のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 ☐ ・品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署で業務を行った。	
		小 計	100	①					60		
	品質管理能 力 詳細設計	ミス防止の実 施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・業務計画書等に、照査体制が記載されていた。 ☐ ・業務計画書等に照査担当者が配置されていた。 ☐ ・チェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 ☐ ・品質管理のためのシステム(ex.ISO9001)が構築されている部署で業務を行った。	
		小 計	100	①					20		

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					0.6	☐ ・業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 ☐ ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。
			関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					0.6	☐ ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が円滑に作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
			地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					0.6	☐ ・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が円滑に作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小 計	100	①					60		
	コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ☐ ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ☐ ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ☐ ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
			理解しやすい説明・プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ☐ ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ☐ ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ☐ ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
			円滑な業務遂行への努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					0.6	☐ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小 計	100	①					28		

(3)設計業務 ①〔調査員用〕

(5/5)

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性	100	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃⇒「0.4」、〃⇒「0.6」 〃⇒「0.8」、〃⇒「1.0」					0.2	☐ ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ☐ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ☐ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小 計	100	①					20	
結果評価	成果品の品質	目的の 達成度	40	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃⇒「0.4」、〃⇒「0.6」 〃⇒「0.8」、〃⇒「1.0」					0.2	☐ ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注)	
		的確な とりまとめ	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃⇒「0.4」、〃⇒「0.6」 〃⇒「0.8」、〃⇒「1.0」					0.2	☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃⇒「0.4」、〃⇒「0.6」 〃⇒「0.8」、〃⇒「1.0」					0.2	☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスは無かった。 ☐ ・ミスは無く、必要書類等も完備されていた。	
		小 計	100	①					20		

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

7. 採点表

(3)設計業務 ②〔主任調査員用〕

(1/1)

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					0.6	☐ ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。
											☐ ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。
	☐ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。										
	☐ ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。										
☐ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。											
☐ ・その他(理由:)											
	小 計	100	②					60			
	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					0.6	☐ ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。
											☐ ・業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。
	☐ ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。										
	☐ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。										
☐ ・その他(理由:)											
	小 計	100	②					60			
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失				評価細目チェック数1つ毎に3点減点						☐ ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。
					⑥						0
	守秘性に係る過失				評価細目チェック数1つ毎に3点減点(チェックは1つまで)						☐ ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。
					⑦						0
											☐ ・その他(理由:)
											☐ ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。
											☐ ・その他(理由:)

7. 採点表

(3) 設計業務 ③〔検査員用〕

(1/1)

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優 標 準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目 検討手法	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
			十分な技術力	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)
			小 計	100	③					20	
	コミュニケーション	説明力 プレゼンテーション力 協調性	説明力 プレゼンテーション力 協調性	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			小 計	100	③					20	
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注)	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ☐ ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。 ☐ ・修正が必要なミスは無かった。 ☐ ・ミスは無く、必要書類等も完備されていた。	
		小 計	100	③					20		

注) 審査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

8. 評定点集計表(3)設計業務

[illegible]

7. 採点表
(4)現場技術業務 ①〔調査員用〕

(1/2)

評価項目		評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目
						標準						
				重み	実点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	当該業務の趣旨を十分理解しているか？	10	6	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ ・業務計画書に記載された内容を的確に理解していた。 ☐ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ☐ ・提出資料等に当該業務の特徴、注意すべき事項などが適切に記述されていた。(担当路線・河川等の地域特性など)
		小計		10	6	①					1.2	
		的確な履行	法令・技術基準の知識は十分か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・業務に必要な法律・政令・通達等が十分に理解されていた。 ☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件が十分に理解されていた。 ☐ ・業務上必要となる、図面及び技術的資料について留意すべき、専門的知識を十分有していた。
			業務内容についての判断は的確か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.0」 〃=1⇒「0.2」 〃=2⇒「0.4」 〃=3⇒「0.6」 〃=4⇒「0.8」 〃=5⇒「1.0」					0.0	☐ ・業務着手時点において、業務に必要な資料等が整備されていた。 ☐ ・業務遂行段階で、業務に必要な資料収集がなされていた。 ☐ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。 ☐ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・業務(現場)で発生した諸問題に対して十分対応できる能力を有していた。
			関係者とのコミュニケーションは適切か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・日々の業務内容を調査(監督)職員に報告するなど常に連絡を密にしていた。 ☐ ・緊急性のあるもの、ないものとの判断が適切に行われ、調査(監督)職員に分かりやすく伝えられた。 ☐ ・現場での問題点などを迅速に調査(監督)職員に伝え、問題解決に繋がる提案をした。 ☐ ・関係者(工事請負業者等)との対話を心がけ、トラブルがなかった。
		小計		60	36	①					4.8	
		業務目的の達成度	必要事項が適切に記載されているか？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・調査職員からの指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し十分な業務成果が得られた。
			業務に求められている的確な取りまとめがなされているか？	10	6	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 ☐ ・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。 ☐ ・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。 ☐ ・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
		小計		30	18	① ②					3.6	
		専門技術力 計			100	60	④					9.6

評価項目		評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目
						優 標 準 劣						
				重み	実点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	業務実施体制の的確性		40	14	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。 ☐ ・当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。 ☐ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。 ☐ ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。
		打合せ内容の理解	発注者との打合せは適切か？	20	7	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.6」 〃=2⇒「1.0」					0.2	☐ ・打合せ記録が適切に整理され、遅滞なく作成されていた。 ☐ ・受注者内の意思疎通が正確で、指示や打ち合わせ事項が的確に業務に反映された。
		指揮系統の迅速性 確実性	情報伝達の基本は守られているか？	40	14	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。 ☐ ・情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。 ☐ ・当該業務に関する社内の情報伝達内容が書類により記録されていた。 ☐ ・問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。
	管理技術力 計			100	35	⑧					7	
	取組姿勢	責任感、積極性	100	5	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・管理技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ☐ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 ☐ ・業務の内容・精度を向上させる新たな取組が自主的になされた。	
	取組姿勢 計			100	5	⑨					1	
計					100	⑩					8	

7. 採点表
(4)現場技術業務 ②〔主任調査員用〕 (1/1)

評価項目	評価の視点	配点		得点率					得点	評価細目
				優	標準			劣		
		重み	実点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失		-15	評価細目チェック数1つ毎に3点減点						☐ ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ☐ ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ☐ ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ☐ ・業務実施体制に問題があった。 ☐ ・その他(理由:)
	中立性、公平性に係る過失		-3	評価細目チェック数1つで3点減点 (チェックは1つまで)						☐ ・中立性・公平性に関して、第三者から苦情があり、請負者に帰する過失があった。 ☐ ・その他(理由:)
	守秘性に係る過失		-3	評価細目チェック数1つで3点減点 (チェックは1つまで)						☐ ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるもと発注者が判断した。 ☐ ・その他(理由:)
計			-21	⑫					0	

7. 採点表
(4)現場技術業務 ①〔検査員用〕 (1/1)

評価項目		評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目
						優 標 準 劣						
				重み	実点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務目的の達成度	業務に求められる的確な取りまとめがされているか？	100	50	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 ☐ ・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。 ☐ ・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。 ☐ ・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
		小 計		100	50	③					10	
	管理技術力	業務実施体制の的確性		100	50	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					0.2	☐ ・業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。 ☐ ・当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。 ☐ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。 ☐ ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。
		小 計		100	50	⑥					10	
	計					100	⑪					20

8. 評定点集計表(4)現場技術業務

評価項目			評 価 の 視 点	調査員								主任調査員								検査員								評定点 (注2)	業 務 評 定 (注2)				技 術 者 評 定 (注2)						照 査 技 術 者																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				配点	得点割合					得点	評定点 (注2)	配点	得点割合					得点	評定点 (注2)	配点	得点割合					得点	評定点		管理技術者				担当技術者(注1)				照査技術者																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				得点	評定点	1.0	0.8	0.6				0.4	0.2	得点	評定点	1.0				0.8	0.6	0.4	0.2	得点	評定点	評定点	加重平均点の算出		評定点	加重平均点の算出		評定点	加重平均点の算出																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
																																				重み 満点評定点	評点 / 満点評定 点 (%)		重み 満点評定点	評点 / 満点評定 点 (%)		重み 満点評定点	評点 / 満点評定 点 (%)	重み 満点評定点	評点 / 満点評定 点 (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	業務主旨の理解	○※	6					○	①= 0.2	①= 1.2														1.2	6	1.2 / 6.0	1.2	6	1.2 / 6.0	1.2	6	1.2 / 6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		的確な履行	法令・技術基準の知識	○※	12					○	①= 0.2	①= 2.4															4.8	36	4.8 / 36.0	4.8	36	4.8 / 36.0	4.8	36	4.8 / 36.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			業務内容についての判断	○※	12						①= 0.0	①= 0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			関係者とのコミュニケーション	○※	12					○	①= 0.2	①= 2.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			小計	／	36						0.4	4.8	／															36	0.1		36	0.1		36	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		業務目的の達成	必要事項の記載	○※	12					○	①= 0.2	①= 2.4															3.6	18	3.6 / 18.0	3.6	18	3.6 / 18.0	3.6	18	3.6 / 18.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			的確な取りまとめ	○※	6					○	②= 0.2	②= 1.2					○※	50					○	③= 0.2	③= 10.0	評定点=① +②×1/2 +③×3/50	18	0.2		18	0.2		18	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	小計		／	18						0.4	3.6	／				50					0.2	10.0				18	0.2		18	0.2		18	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	専門技術力 計			／	60					④= 1.0	④= 9.6	／				50					0.2	10.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	管理技術力	業務実施体制的的確性	業務実施体制的的確性	○※	14					○	⑤= 0.2	⑤= 2.8				○※	50					○	⑥= 0.2	⑥= 10.0		2.8	14	2.8 / 14.0	2.8	14	2.8 / 14.0	2.8	14	2.8 / 14.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			／											50												14	0.2		14	0.2		14	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		打ち合わせの理解度	打ち合わせの理解度	○※	7					○	⑦= 0.2	⑦= 1.4													1.4	7	1.4 / 7.0	1.4	7	1.4 / 7.0	1.4	7	1.4 / 7.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		指揮系統の迅速性、確実性	指揮系統の迅速性、確実性	○※	14					○	⑦= 0.2	⑦= 2.8													2.8	14	2.8 / 14.0	2.8	14	2.8 / 14.0	2.8	14	2.8 / 14.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		管理技術力 計			／	35					⑧= 0.6	⑧= 7.0	／			50					⑥= 0.2	⑥= 10.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	取組姿勢	責任感、積極性	責任感、積極性	○※	5					○	⑩= 0.2	⑨= 1.0													1.0	5	1.0 / 5.0	1.0	5	1.0 / 5.0	1.0	5	1.0 / 5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
取組姿勢 計			／	5					⑧= 0.2	⑩= 1.0	／																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
評定者の評定点(総括監督(調査)員の業務上の過失の減点は含んでいない。)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																